

暖かい日が増えてきましたが、花粉症の方には大変な季節ですね。トラスト便りをお届けします。

季節のお話 ～ 福沢諭吉の「ウォーキングのすすめ」～

3月になりふと訪れる春の陽射し。

風のない暖かい日にはぶらりとお散歩したくなりますね。

さて、何か特別な目的があるわけでもなく、ただ歩いてリフレッシュする「散歩」。意外にも日本にこの習慣ができたのは明治時代に入ってからのことでした。

それまでは日々忙しく働く庶民にとって、目的の伴わない散歩は

どんなに歩きまわっても何の収穫も無い「犬の川端歩き」と揶揄されていたそうです。

しかし明治時代になり、西洋文化の上陸と共に散歩の文化も日本に根付いていくようになり

ました。まず実践したのは実際に海外生活を送った夏目漱石や森鷗外、そして福沢諭吉といった文豪やインテリ層の人々でした。

特に医学にも通じていた福沢諭吉は、健康のために日々散歩を実践しており、

広尾・目黒・芝などを巡る「一里半（約6キロ）」の道のりを1時間程かけて歩いたとか！

この習慣は晩年まで毎朝の習慣として続いたそうです。約6キロの散歩も文字通り

「朝飯前」だった福沢先生。何とも見習いたいものです！



気になるニュース ～ 東京圏の地価下落ゼロ ～



国土交通省が発表した地価動向報告によると、東京圏（1都3県）で

10月1日時点の地価は全65地区が3カ月前に比べ上昇又は横ばいとなり、下落が無くなった。

下落ゼロは2008年1月以来6年9カ月ぶり。東京圏で唯一下落していた千葉駅前が横ばいに転じ歌舞伎町や立川も横ばいから上昇に転じて都区内全地区が上昇となった。

個人消費が鈍るなかでも、金融緩和の追い風を受ける不動産関係者の投資意欲は根強く、都心部の一等地以外にも物色の裾野が広がっている。

東京都不動産協会ニュースより

* 荻窪グルメ * 和田上（わだがみ）



ユニークな大将と美味しいお寿司！是非行ってみて下さいね。

荻窪の隠れ家的な立地に

高級なたたずまいを感じさせるお寿司屋さん。

大将は西荻窪の名店「磯はん」で長年修行をされました。

とてもユニークで明るい大将、行くと2人で漫才騒ぎになってしまいます。

お願いすると特別メニュー(^_^)を作ってくれますよ。

杉並区荻窪5-29-7 03-3220-2232 ※月曜定休・月に一度火曜もお休みです

